

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 3 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域密着型施設として地域とのつながり 地域の一員としての交流が充分ではない	地域自治会の催し物・事業所の催し物等を通じ地域の一員としての交流が図れ 社会福祉法人高齢施設としての役割を全うしていく	地域自治会の催し物への積極的参加 事業所の催し物への積極的勧誘を行い 同地域に社会福祉法人高齢施設がある事を認知していただき、安心して利用できる場所としてご理解いただく	12 ヶ月
2	13	職員の教育が不十分でやりがい、目標指向型への意識が弱くなっている 入居者の把握力不足にも繋がり、入居者の満足度低下に繋がりがかねない	研修を受ける機会の確保を行い 社内等でも意見交換・他者意見の吸収の場を多く取り入れる	法人内、社内・外の研修を開催、参加する機会を多く持ち職員間の意見交換等をする事により 職員スキルの向上・入居者満足度の向上を図る	12 ヶ月
3	11	理念5項目の元に施設があるが、理念の理解不足 実践するにあたり、具体的な方針が話し合われていない	いつでも理念にたちかえられるよう理念の共有 と具体策の明確化を行う	職員皆で方針を話し合い、共有し現場で具体的にどのように実践していくかを明確にしていく	6 ヶ月
4					
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。